



心から「ようこそ」

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

「ようこそ、いらつしやいませ」―新年を迎えるにあたり、県外からのお客さまに心から言える風土をつくりたい。はからずもこの度、鳥取観光コンベンション協会長に就任して切実にこう思う。

「観光立県」は鳥取だけではない。交通の便も決してよくない。しかし美しい自然と山海の珍味、古代史のふる里をもつ鳥取は、その恩恵を自ら楽しみ、一人一人が輝くことで、ハートフルな「もてなし」ができるはずである。

ただし観光資源を生かすためには、基礎知識を共有することが必要だ。例えば鳥取砂丘は貴重な「海岸砂丘」、温泉は本物の「天然温泉」、魚介類は水深三百メートル付近で〇・三度という異例の低い「日本海固有水」で美味しくなる。

足元の資源と歴史や文化を見直し、売店や市民が「語り部」になれば、誇りある説得力も増すだろう。広域合併を果たしたいま、人材を活用し、鳥取の魅力点を点から線へ、さらには面へと広げて、さらに連携を強めたい。